

# 2013年8月20日経営会議の概要

日時 : 2013年8月20日(火) 午後1時35分~午後2時40分
会場 : 政策会議室
委員・幹事 : 市長、鷲北副市長、有金副市長、教育長、政策経営部長、総務部長、財務部長、経営改革室長、企画政策課長、企画政策課未来づくりプロジェクト担当課長、企画政策課政策研究担当課長、秘書課長、広報課長、総務課長、法制課長、職員課長
説明 : 議題1 都市づくり部長、都市政策課長 議題2 防災安全担当部長、防災安全課長

議題1 : 土地利用に関する基本方針及び制度活用の方策の策定について (都市づくり部)

## 【付議の目的】

○土地利用に関する基本方針及び制度活用の方策(案)について承認を受ける。

## 【提案の概要】

2012年4月に、用途地域等の都市計画決定権限が東京都から町田市に移譲されたことにより、町田市の地域特性にあわせた用途地域等の指定方針・指定基準の策定が必要となった。また、町田市基本計画「まちだ未来づくりプラン」、町田市都市計画マスタープランに示した将来都市像の実現に向け、土地利用の側面から具体的にその方針を示す必要もある。

それらに対応し、町田市の特性に対応した適切な土地利用を誘導するため、土地利用に関する基本方針及び制度活用の方策を策定する。

策定にあたっては、東京都の「用途地域等に関する指定方針及び指定基準」を踏まえながら、町田市の特性に合わせた内容とする。

## 【主な意見】

特になし。

## 【会議結果】

提案内容を承認する。

## 【付議の目的】

パブリックコメントの実施にあたり、町田市安全安心まちづくり推進計画（素案）の承認を受ける。

## 【提案の概要】

町田市内の刑法犯認知件数は 2000 年当時で約 1 万件であったが、2012 年度には 4,493 件となり約 54%減少した。しかしながら、2012 年度の市民意識調査では「治安が良い」又は「やや治安が良い」と感じている市民の割合は約 45%と半数以下に留まっている。また、同市民意識調査によると「町田市での生活で不満な点」の第 1 位は「治安が悪い」となっており、市民の体感治安は決して良いと言える状況ではない。

このような状況の中、町田市生活安全条例の目的である「明るく安心して暮らせる地域社会の形成」を達成するために必要な計画を策定し、庁内組織のみならず庁外の関係団体等と連携を取りながら防犯対策に取り組むことで、刑法犯認知件数の減少と体感治安の改善が求められている。

町田市安全安心まちづくり推進計画を策定することで、町田市が取り組むべき防犯対策及び各担当部署の役割を明確にし、また警察や市民団体、事業者等と協力しながら各種施策を推進することにより、安全で安心な町田市を実現する。

## 【主な意見】

特になし。

## 【会議結果】

提案内容を承認する。